

(一社)新潟ニュービジネス協議会 令和2年度第7回起業家支援委員会 議事録

日時：令和3年3月25日（木曜）18：00～

会場：ホテルイタリア軒

司会進行：土田衛 幹事

1. 挨拶：渡邊信子委員長より

3月末の退会にあたり、ご自身の活動の振り返りやメンバーに対して激励の言葉をいただいた。

2. 協議事項

(1) 令和3年度新潟市キャリア啓発事業 講師協力

① 雇用政策課の体制

- ・松本係長は4月1日より東区地域課の配属となる。福井さんが引き続き担当する。
- ・互いの目的のために一緒にやっている事業であるので、やりたいことがあれば担当にご相談いただきたい。

② 「新潟市の課題と現状」を理解するための勉強会

- ・市職員が「若者の県外流出・新潟への移住」などのテーマで講義を行う勉強会について、年度前半の開催を目指し雇用政策課と調整を進める。

③ 生徒アンケートの課題（今後の検討事項の洗い出し）

[フォーマット]

共通フォーマットは新年度内の検討事項とし、年度開始早々の運用は行わない。

- ・現在は学校オリジナルと講師オリジナルがある。それに加え、キャリア啓発事業共通フォーマットを用意し、使用を任意とするとよいのではないか。
- ・チェック式でコメント欄を少なくするなど回答のしやすさも考慮する。
- ・内容は雇用政策課のたたき台をもとに委員会独自の内容を検討する。

[回答方式]

担当講師が事前に学校側と調整し、学校側の希望に沿うようにする。

- ・生徒がアンケートを書く時間（講演内 or 講演外）
- ・講演中の挙手や投げ掛けた質問に対する回答をアンケートとみなし、講師が文書化して市に報告する、など

[タブレットの活用、他]

- ・生徒がタブレットでアンケートを回答する方法は学校側の負担が減るのではないか。
- ・新潟市立の中学校ではロイロノートを使用する。生徒の回答は担任に届き、そこから送ってもらう形となる。googleフォームを使用すると、回答内容を学校側が把握できないので、学校にフィードバックする必要がある。
- ・アンケート回答を講演の条件にするのは難しいかもしれないが、学校側と連携を進め、回答を必ずいただき、市へ結果を戻すことが事業継続につながるのではないか。

3. 報告

① 高志中等教育学校上野校長先生より、総合探求発表会参加の御礼

■次回開催日 令和3年4月22日（木曜）18：00～ ホテルイタリア軒にて
議題）キャリア啓発事業の年度当初分担当決め、他

以上